

## ひょうたんの観察（２）

玉東町立木葉小学校 ４年 吉野 綾

### １ 調べようと思ったわけ

昨年、ひょうたんの観察をしたが、たくさん実らせるためにはどうしたらよいか？わからなかったのので、今年も育てる方法をかえてちょうせんした。（種は昨年しゅうかくした種をつかった）

### ２ 調べること

◎育て方によって草たけや実の数はどうなるのか。

育て方① そのまま育てる。

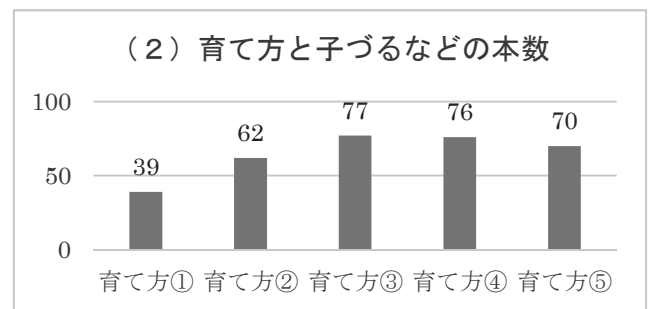
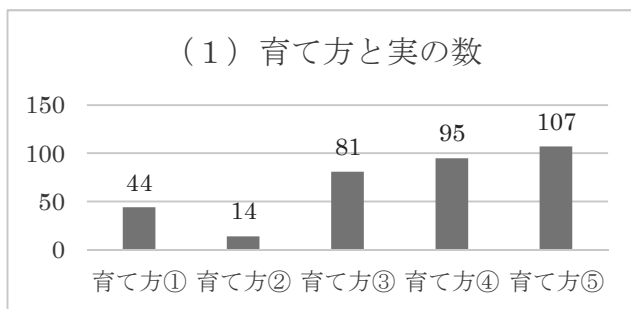
育て方② 親づるの本葉を先たんから１０枚残して育てる。

育て方③ 親づるの本葉を先たんから２０枚残して育てる。

育て方④ 親づるの本葉を先たんから２０枚残し、親づる、子づるなどのまきひげは、全部切りとって育てる。

育て方⑤ 親づるを１ｍ先から切り取って、子づるなどを育てる。

### ３ 観察した結果



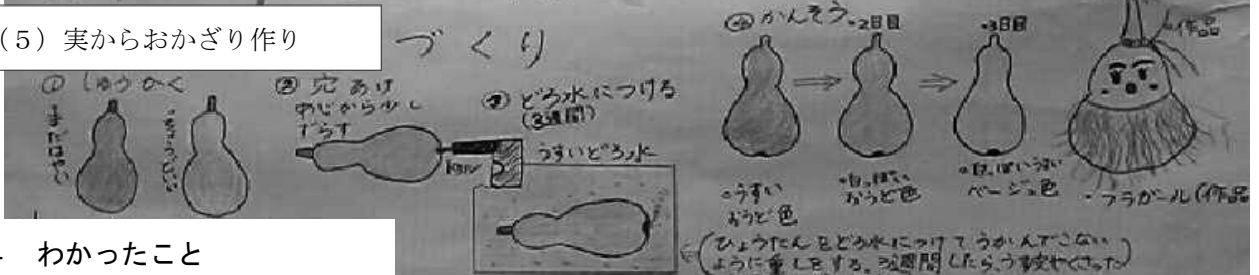
#### (３) 変な葉を発見



#### (４) 実のつき方



#### (５) 実からおかざり作り



### ４ わかったこと

- ・子づるなどを切り取ったものは、そのままのものより２倍くらい大きくのびた。
- ・親づるの葉を残したものの草丈は、あまり変わらなかったが、親づるの葉を早く切り取ってしまうと実の数にえいきょうすることがわかった。
- ・実が若いときは、さわったり風であおられたりすると、実が大きくならなかったり、きずつきくさってしまうことがわかった。
- ・まきひげを全部切りとっても、実の数にはえいきょうがないことがわかった。
- ・実をたくさんらせるためには、子づる・孫づるを「上手に育てる」ことが大切だと思った。